



学校評価アンケート特集

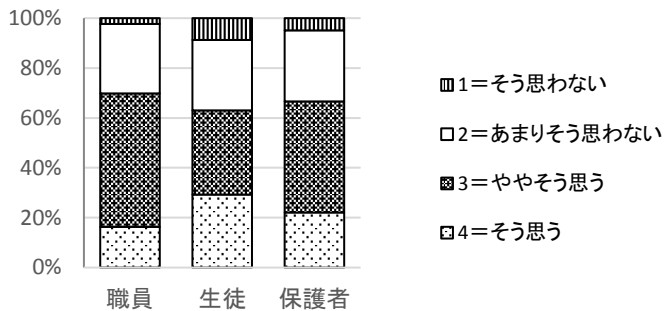
よりよい南林間中学校づくりを目指して、昨年11月末から12月初旬にかけて教職員・生徒・保護者の皆様を対象に、学校評価アンケートを実施しました。三者の比較ができるよう共通の項目も設定しました。

回答は、4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わないとしました。

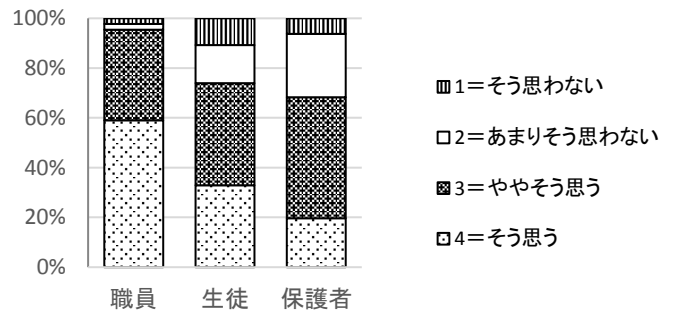
今年度から教職員・生徒・保護者の集計作業の効率化のためマークシートを利用した調査に変更しました。今年度の三者の各回答率をグラフ化して三者の差異について分析・考察をしました。

1. 学校運営

問1. 生徒達は目標を持って学校生活を送っていると思いますか



問2. 本校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。

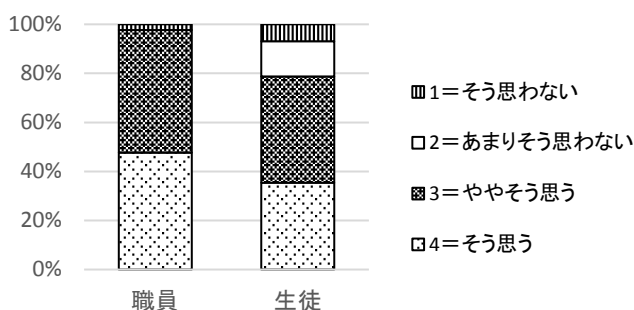


生活面や学習面など各場面における個人としての目標、学級や学年など集団としての目標など、より具体的に生徒が目標を設定できるよう、一緒に考える機会、また、何ができて、何ができないかを振り返り、次の目標に向けて、教職員がアドバイスをしていく機会をもつことが必要だと考えています。

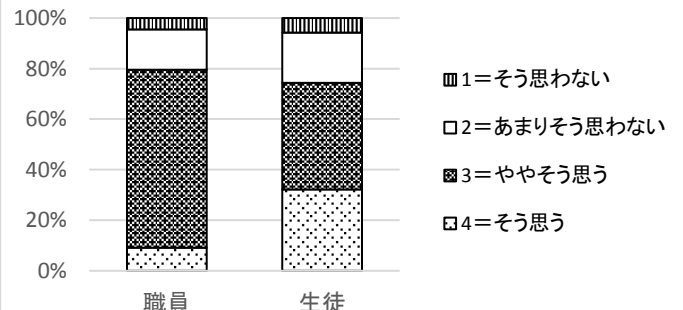
本校から各ご家庭への連絡や情報提供はより積極的に行っていく必要があると思います。現在PTA文書のみ学校HPにバックナンバーを掲載しています。各学年の行事予定表や保護者会の通知等、学校HPから発信していくことを検討していきます。

2. 学習指導

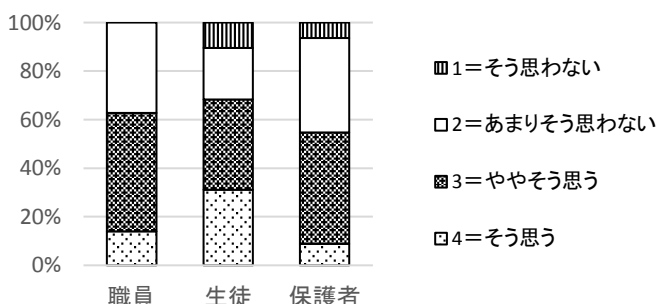
問3. 教職員は分かりやすい授業に努めていると思いますか



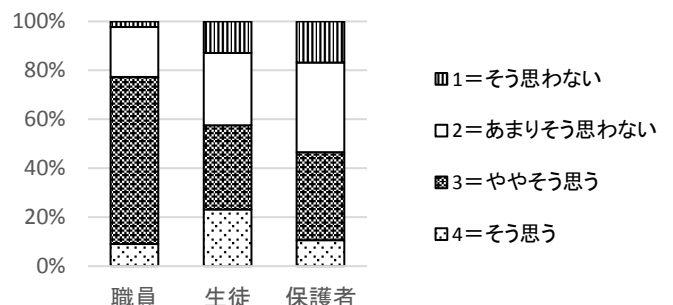
問4. 生徒達は意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



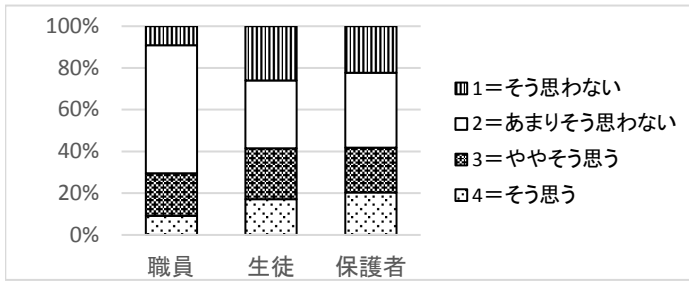
問5. 本校は地域の環境や人材を教育活動に生かしていると思いますか。



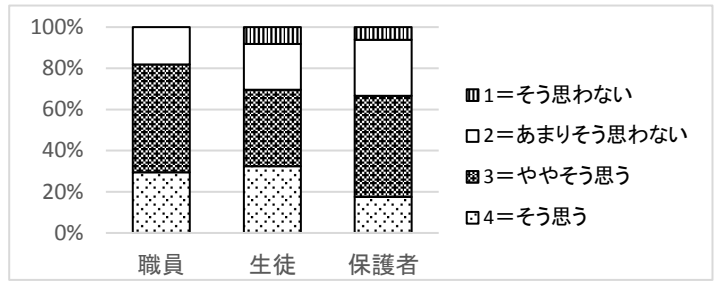
問6. 生徒達の学力は向上していると思いますか。



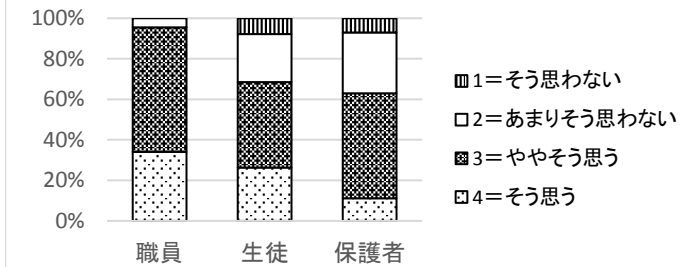
問7. 生徒達は家庭で毎日勉強していると思いますか。



問8. 本校の総合的な学習の時間(テーマ「人とのより良い関わり」)は、生徒が将来の生き方を考える上で役立っていると思いますか。

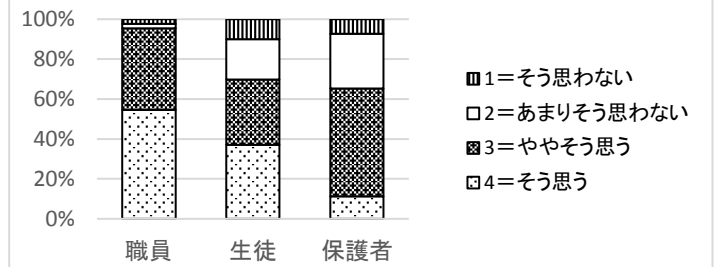


問9. 本校は生徒の豊かな心を育てようとしていると思いますか。



3. 評価

問10. 本校では、生徒を適切に評価していると思いますか。



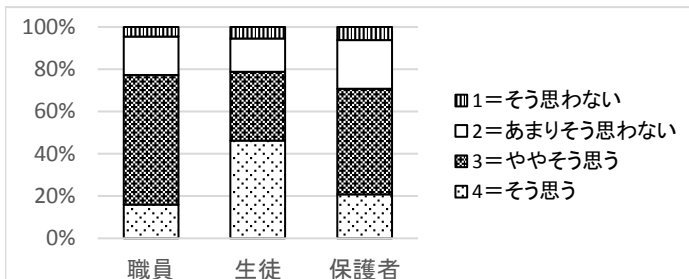
本校では、多くの生徒が意欲的に授業に取り組んでいるが、学力の向上に関しては、生徒・保護者の肯定的な回答が低いです。今後も教科会を中心に授業研究の充実を図り、生徒の関心・意欲を高める授業、わかりやすい授業を実践していくと共に、週末課題や教科宿題等、家庭学習の習慣化を図るための取り組みをより効果的なものとし、学力向上に努めていきます。

総合的な学習の時間に関しては、行事の取り組み、防災学習、職場体験学習を柱に進めていますが、具体的な内容や成果を生徒や保護者に伝えていく必要があります。また、職場体験学習や様々な講話においては、地域の方々の協力を得ており、今後も地域の人材を活かし、体験的な学習を通して豊かな心の育成にもつなげていきます。

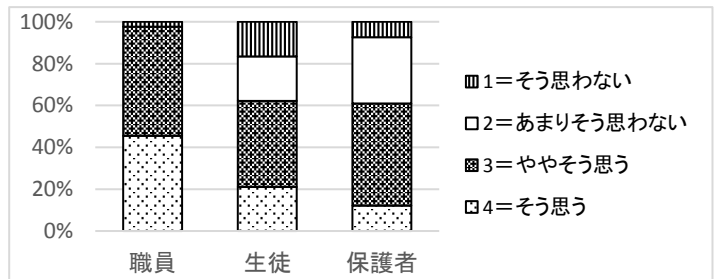
評価については、1年1学期の三者面談時に配布している評価に関する資料の内容を、教科担任が授業の中で生徒に説明しているが、生徒・保護者の肯定的な回答が低いことから、今後より一層具体的にわかりやすい説明が必要であると感じています。

4. 生活指導

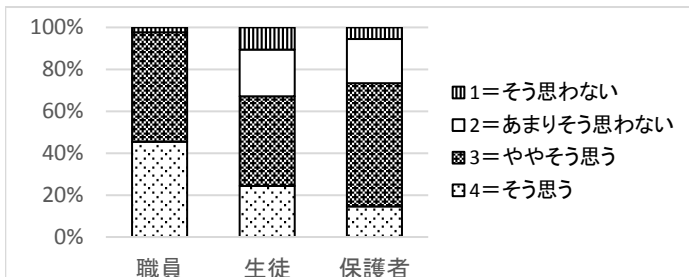
問11. 生徒のあいさつはよくできていると思いますか。



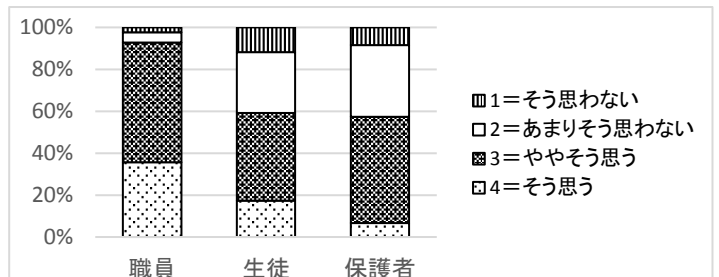
問12. 生徒の相談事や悩みなどについて、教職員は適切に応じていると思いますか。



問13. 本校では生徒が安心して学校生活を送れるような生活指導をしていると思いますか。



問14. 本校では生徒が自分の考えや意見を言いやすいような学級づくりに努力していると思いますか。

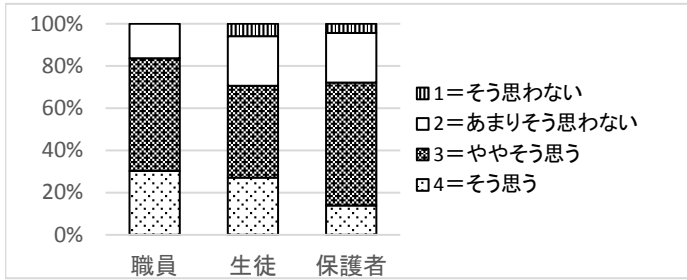


今年度から家庭訪問を実施し、家庭と連携して生徒の実態把握に努めるようにしています。また、担任を窓口として、校内では、養護教諭・教育相談コーディネーター・スクールカウンセラー・スクールアシスタント・登校支援員などのスタッフを活用し、生徒の話を聞き取ったり、学習の手助けを行うなど、生徒が安心して学校生活を送れるように努めていきます。

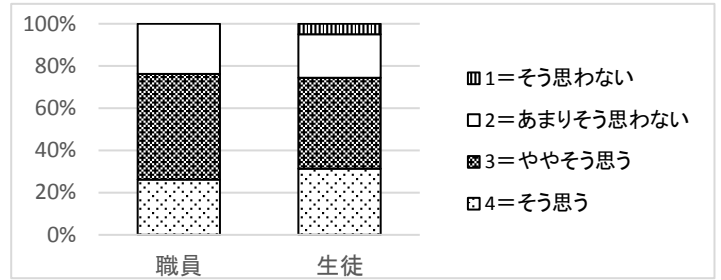
人間関係は相性などの問題もあるので担任だけに任せるのではなく、学年・学校全体で生徒ひとりひとりを見守る体制作りを強化し、保護者からの協力を得られるように努めていきます。

5. 特別活動

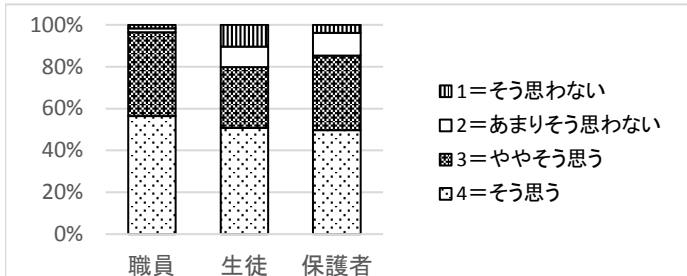
問15. 本校は校内の環境美化に積極的に取り組んでいると思いますか。



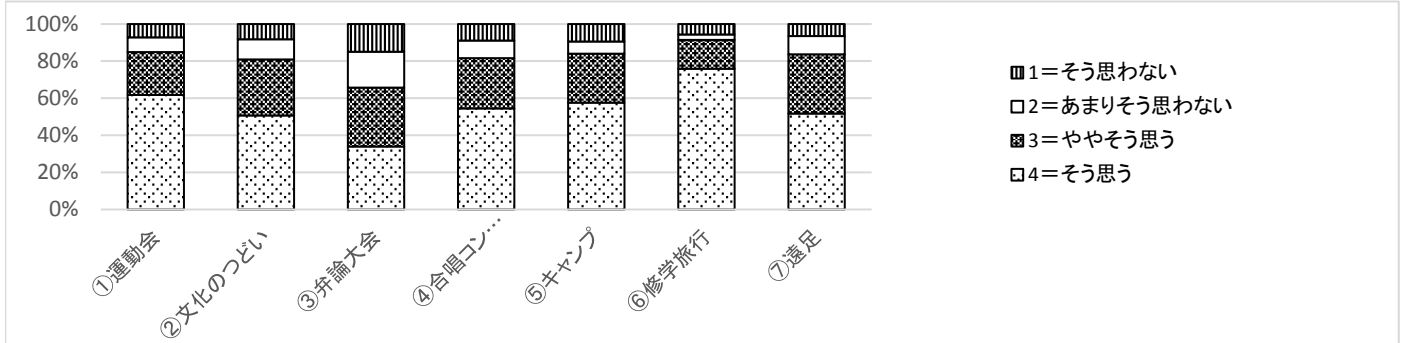
問16. 本校の生徒会活動や委員会活動は、活発で充実していると思いますか。



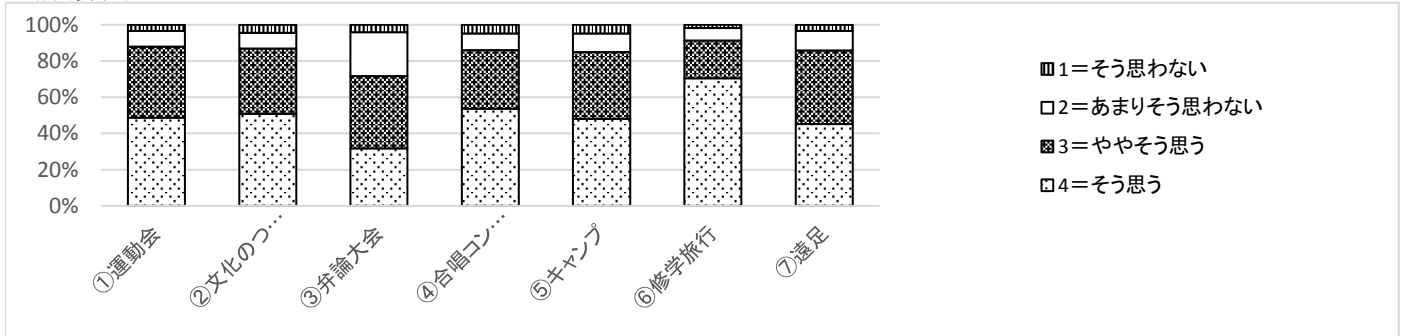
問17. 学校行事は、生徒にとって実りあるものになっていると思いますか。



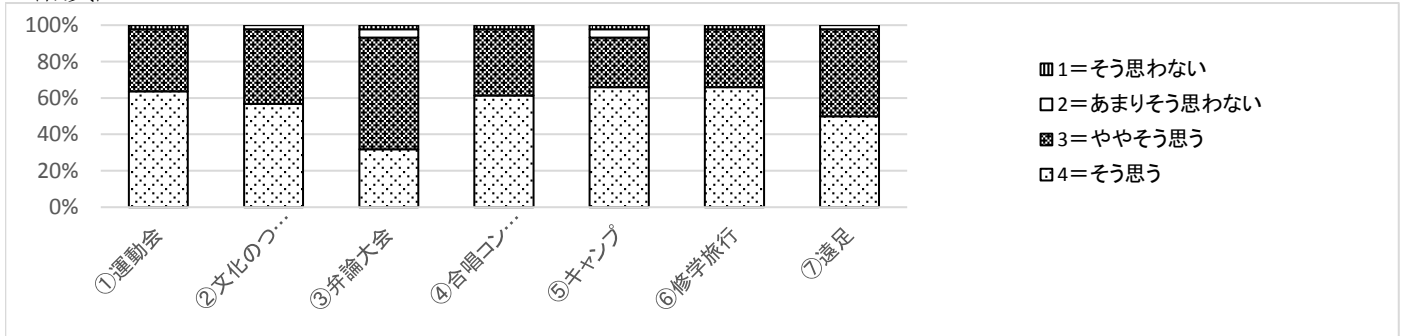
〈生徒〉



〈保護者〉

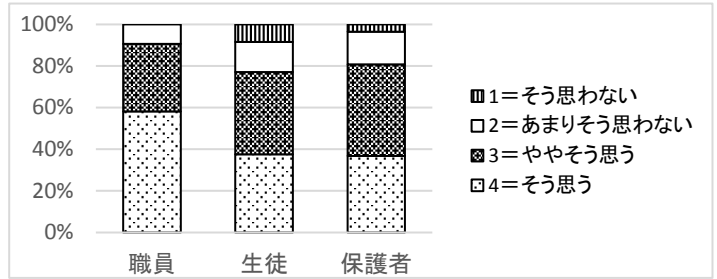
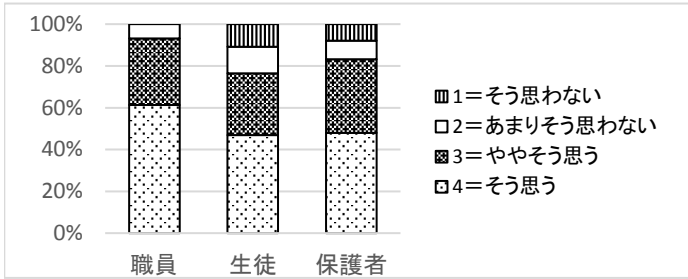


〈職員〉



問18. 部活動は生徒にとって充実した活動になっていると思いますか。

問19. 地域や福祉施設等で行っているボランティア活動は有意義だと思いますか。

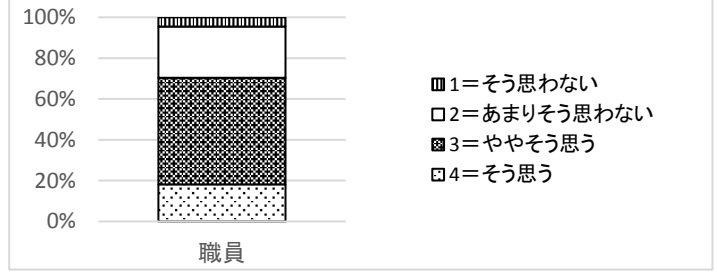
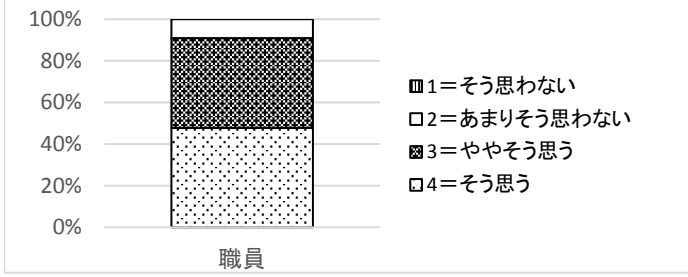


特別活動については、概ね充実していると評価することができます。生徒会活動で熊本地震に際し校外での募金活動を行い、また小学校への運動会の手伝いをはじめ地域のボランティアに多くの生徒が参加するなど、地域との関わりを積極的に進めています。また作文コンクールや啓発ポスター等に作品を応募する生徒も増え、行事や部活動も含め教科外活動の充実が感じられます。今後も多くの生徒の積極的な参加を促すよう心がけます。

6. その他

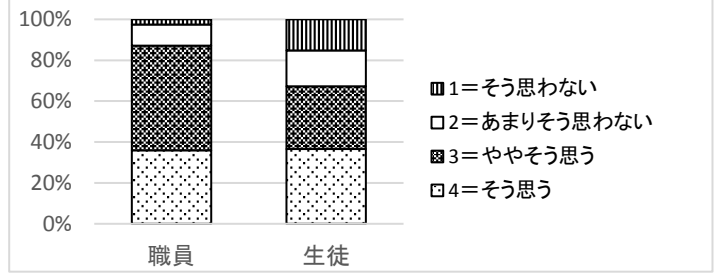
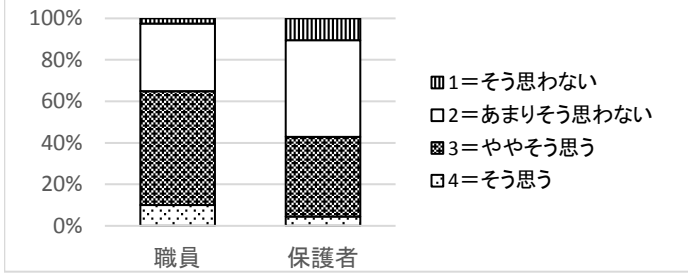
問20. 本校の研修・研究体制は充実していると思いますか

問21. 小学校・高校との校種間連携は十分だと思いますか。



問22. PTA活動の内容を知っていますか。

問23. 朝読書により読書の習慣が身につきましたか。



本校では、平成27年度から2年間、市研究委託を受け、ICT活用を通したわかる授業づくりについて研究を深めてきました。また、週1回教科ごとに授業改善等のための会議を持ち、教職員1人ひとりが授業を公開し、互いに意見を交換しあっています。小学校、高校との連携でも、本年度は緑野小学校や大和西高校の授業を参観し、連携について検討してきました。来年度は本校を会場として、学区内全小学校の先生方に授業を公開し、連携のための協議を行う予定です。研修は高い評価を受けていますが、連携は、今後さらに職員間でどのような連携ができるのかを模索していきます。

PTA活動は、保護者にまだ内容が十分理解されていないことが読み取れます。活動内容が学校ホームページに掲載されていることの周知に心がけていきます。

朝読書は、朝のスタートを落ち着いた態度で過ごせる生徒が多くなったこと、図書館の利用が増えていることなど、効果が見られます。1月からは各学級に中高生新聞が配布され、新聞を読むことができる環境も整えられました。今後も、生徒たちが読書習慣が定着した実感を持てるように取組を続けていきます。

【まとめ】

- 生徒達が目標を持ち、意欲的に授業に取り組む工夫やアドバイスを与える機会を持つことが必要であることが集計結果から受け取れます。また、相談事への適切な対応や自分の考えが言いやすいという肯定的な回答がやや低いこともうかがわれます。生徒達が充実感を持って学校生活を送るには教職員が生徒の考えていることに耳をかたむけて、適切な対応をすることがより求められています。
- 職員・生徒・保護者共に学校行事、部活動の充実、ボランティア活動に対する評価が高く、今後も大切にしていくな必要があります。
- 地域の教育力や小学校・高校との連携は徐々になされているもののさらにどのようなことができるか模索する必要があります。
- 家庭学習については、職員・生徒・保護者ともに、調査項目中最も低く、学校での学習指導、家庭との協力等に努めていく必要があります。
- 本校の研修・研究体制は充実していると思う職員が多いことから、子ども達の教育活動につなげていく努力をさらにすすめていきたいと思えます。